

# 地域が誇る 伝統文化



## 「東浜町一組女相撲」を応援に行こう！



### 「東浜町一組女相撲保存会」の皆さんが させぼ文化マンス「楽園祭」に出演します！

8回目となる「文化マンス」は、佐世保ゆかりの映画上映をはじめ  
ダンスに音楽、本に書道とイベント もりたくさん！  
行って、見て、ふれて、佐世保文化の「今」を体感しましょう！

期日：令和元年11月17日(日)

場所：アルカスSASEBO

1F エントランスホール

出演時間：①12:00 ~ 12:20

②14:00 ~ 14:20

#### ◆ 文化マンスでの「東浜町一組女相撲」の見どころ ◆

全身に白い装束をまとい手製の化粧まわしをした力士たちの真剣な取組や唄などにご期待ください！

#### 【「東浜町一組女相撲保存会」のプロフィール】

東浜町一組女相撲のそもそもの始まりは、昭和初期頃に西蓮寺(さいれんじ)で行った奉納相撲だったと言われている。豊かな海に面している東浜町は、古くから大半の住民が漁業を営んでおり、男性たちは夜にイワシ漁に出かけ、朝方港に揚がったイワシを女性たちが加工し、イリコを製造するなど、女性も男性同様に日々体力勝負の重労働をしていた。

そんな東浜町だからこそ東浜町一組女相撲は、漁に出かけた男性たちの無事の帰りを願う安全祈願や、豊かな海の恵みを受けて生活することから大漁を願う大漁祈願、また地域の様々な行事等で祝い踊り唄や奉納踊りとして、さらには時として息抜きとして、これまで東浜町の女性たちの手によって大切に伝承されてきた。

保存会メンバーは60代から90代の14人。普段の活動は月1回で、イベント前には週1回、公会堂に集まって練習している。主に相撲踊りと取組、餅つき踊りの3部構成となっており、東浜の情景を歌った相撲甚句に合わせて会員が円になって踊る。3番勝負の取組の後、餅つき踊りをして、餅や饅頭を見物客たちに配るのが習わしとなっている。



発行：崎 辺 地 区 自 治 協 議 会